



## おかえりなさい、小学校のシンボルツリー・エノキ

**林**木育種センターの「林木遺伝子銀行110番」の里帰りシリーズ第6弾です。一つ目は、熊本市立大江<sup>おおえ</sup>小学校にあった「おおえのき」です。この木は、本校が現在地に移転した明治30(1897)年に植栽され、約120年で樹高16m・幹周り4mに成長し、隣接する体育館の屋根をも見下ろす大木でした。小学校のシンボルツリーとして児童や住民に親しまれていましたが、平成27年に熊本県を直撃した大型台風15号の猛威により根元から倒壊してしまいました。そこで、「おおえのき」の歴史といのちを後世につなごうと熊本市教育委員会から九州育種場へ要請があり、倒壊後に持ち帰った60本程度の枝から、さし木とつぎ木で2本の後継樹を増殖することができました。2年かけて樹高2.7mまで成長した後継樹は、児童主催の「『おおえのき』おかえりなさいの会」で里帰りし、私達は、児童全員から「林木育種センターの皆さん、ありがとうございました。」という言葉をもらい大いに励まされました。二代目「おおえのき」がシンボルツリーとして大きく育ち地域の方々を見守り続けることを願っています。

(林木育種センター九州育種場・飯田 啓達)



1 「おおえのき」の親木、2 里帰りした後継樹、3 代表児童への引き渡し、4 「おおえのき」おかえりなさいの会の様子



## 林木遺伝子銀行110番

— 貴重な樹木の苗木の里帰り —

### 町民に愛される色鮮やかな乙部町の乙女桜・エゾヤマザクラ(オオヤマザクラ)

つ目は、北海道にし爾志郡乙部町にある「乙女桜」というエゾヤマザクラ(オオヤマザクラ)です。この桜は、春になると他の桜よりも色の濃い花(写真1、2)を咲かせて地元町民の目を楽しませていましたが、数年前から母樹の樹勢が衰えてきたため乙部町から林木遺伝子銀行110番の依頼がありました。北海道育種場は、平成28年に2本の母樹から採穂し、つぎ木増殖を行いました(写真3)。母樹の穂をつぎ木することで、色の濃い花の遺伝子をそのまま受け継ぐ後継樹を育てることができます。それぞれ30本あまりのつぎ木苗を温室に入れ、2年程度つぎ目の活着確認や水管理等を行いながら養苗し、順調に成長した苗木のうち、乙女桜1号、2号あわせて計5本を里帰りさせることができました(写真4、5)。苗木を受け取った乙部町町役場のみなさんは、「苗木の成長には時間がかかるが、いつかたくさん桜を咲かせて乙部町の春を彩ってほしい」と桜の開花を楽しみにされていました。里帰りした乙女桜が親木と同様に鮮やかな色の桜を咲かせ、町民の方々に末永く親しまれることを願っています。

(林木育種センター北海道育種場・南 佳織)



1 「乙女桜1号」の親木、2 「乙女桜2号」の親木、3 つぎ木増殖、4 「乙女桜1号」の後継樹、5 「乙女桜2号」の後継樹

「林木遺伝子銀行110番」の利用については、  
森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターホームページの「遺伝資源の収集・保存・配布」  
URL <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/iden/index.html> をご覧いただくか、  
遺伝資源収集係(林木育種センター Tel.0294-39-7000)にお問合せ下さい。

